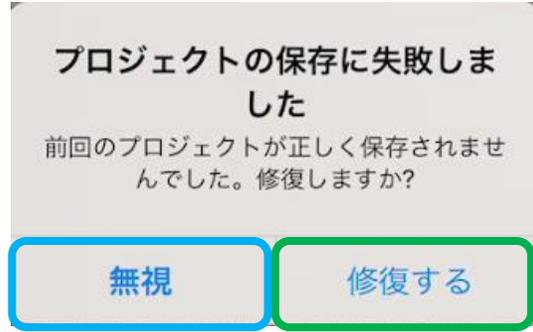


Pix4D catch ver2.2.0よりアプリクラッシュ時のデータリカバリー機能が追加されます。  
クラッシュデータを修復後点群生成は可能ですが、LiDAR点群が閲覧できない旨をご注意下さい。

次回起動時に下記ポップアップが出ます。

アプリ  
クラッシュ



データ送り先選択画面で  
Quick3Dを選択。



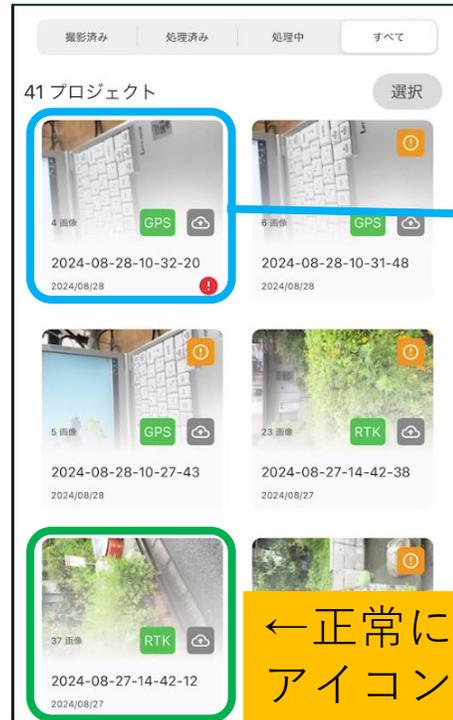
SC Quick3Dへ



「無視」の場合、通常撮影画面に戻る。  
撮影フォルダをみてください。



修復前プロジェクトを利用したい場合は  
修復前プロジェクトを選択。



修復するを選択する。



- 修復前プロジェクト
- 修復済プロジェクト

←正常に処理されたプロジェクトには  
アイコンが付きません。